参考資料２

「東京都子供・子育て支援総合計画（第３期）」を策定しました！

この計画は、東京都がつくった計画です。

安心して子供を産み育てることができ、

東京に住む子供と子育てする大人が

暮らしやすくなるためにつくりました。

また、計画をつくるにあたり、

みなさんの声・意見を

たくさんいただきました。

- ✓ この計画をもとに、**子供と子育てする大人を助ける**ために様々なことをします。
- ✓ 第3期は、2025年度から2029年度までの5年間です。
- ✓ 東京都がこれから取り組むことを**６つの目標**にまとめました。

目標1　地域における妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の仕組みづくり

出産や子育てをする家庭が、より良い

医療や子育て支援サービスを

受けられるようにします。

子育てに役立つ情報を簡単に

入手したり、相談ができたり

するようにします。

妊娠・出産・子育てへの支援をします

・若い世代が妊娠や出産に関する正しい知識を持ち、将来どのような人生を送りたいか思い描けるよう周知していきます。

・妊婦や子育て家庭に、保健師などの専門職が、家庭訪問などを行い、相談にのったり、必要な情報を伝えたりします。

・また、家事や育児を手伝う人を派遣します。

安心できる子供の医療体制を整えます

・夜間や休日に急に病気になっても、病院で診てもらえるよう、子供の救急医療体制を整備します。

子育て家庭を地域で支えます

・身近な区市町村において、子育てなどに不安を抱える家庭に様々な相談やサービスの提供を行います。

子供が健康で過ごせるように支援します

・アレルギーのある子供や保護者に向けた正しい知識の周知を行うとともに、食育を進めていきます。

目標2　乳幼児期における教育・保育の充実

小学校に入る前の子供たちが

しっかりと育ち、学べるように、

一人ひとりに合った

教育や保育を提供します。

例えばこんな
意見が・・・

保育の質を
向上してほしい。

小学校に入る前の教育をさらに良くします

・子供が生きる力を身につけられるよう、幼稚園や保育園で、子供の興味にあわせた遊びや活動ができるようにします。

・幼稚園や保育園で子供たちが安心して楽しく過ごせるよう、先生や補助する職員の質の向上に努めます。

・子供たちが、小学校に入った後、急な環境の変化の中でも安心して生活できるよう、幼稚園、保育園の先生と小学校の先生が協力していきます。

保育サービスをさらに良くします

・障害やアレルギーのある子供が、安心して保育園に行けるようにします。

・病気などで通園が難しい場合や、親が夕方以降も働いている場合などでも、子供を保育できるようにします。

・ベビーシッターを利用しやすくするなど、 自宅での保育も充実させます。

目標3　子供の成長段階に応じた支援の充実

子供が、**勉強や体験ができる機会**をふやします。将来、自分の力で生活できるようにします。放課後などに、**子供が安全に過ごせる場所**をつくります。

子供の権利を尊重します

・子供は大人と同じ、一人の人間としてたくさんの権利を持っています。自由に意見表明したり地域社会に参加したりできることを示した「東京都こども基本条例」について広く知ってもらえるよう取り組みます。

子供を伸ばす勉強や体験ができる機会を増やします

・一人ひとりの状況に合わせて、学力や体力が上がるようにします。
・すべての子供が多様な体験活動にチャレンジできるようにします。

大人になったときに自分の力で生活できるようにします

・様々な環境下にある子供誰もが、将来大人になったときに、自分の力で生活し、社会で活躍できるようにします。
・不登校の子供のため、学びたいと思った時に学べる、教室（クラス）以外の通いやすい場所を作ります。
・ひきこもりの状態にある人やその家族を支援します。

子供の居場所をつくります

・子供食堂など、子供が気軽に、安心して行くことができる地域の居場所を増やします。
・新しい学童クラブ制度（認証学童クラブ制度）をつくり、子供や保護者に合わせていろいろなサービスを提供します。

目標4　子供の貧困の解消に向けた対策の推進

貧困の状況にある子供と家庭に

早く、幅広い支援をします。

地域全体で、**貧困の解消**に向けた

支援を進めます。

例えばこんな
意見が・・・

多様な体験活動の
機会がほしい。

学校外の学習や体験、進路選択をサポートします

・家庭の収入などによらず、学校以外の場所で学習や体験活動をできるようにします。

・収入の低い家庭の子供が、希望する進路に進めるよう、学習塾や受験の費用を貸して支援します。

安心して生活できる環境を整えます

・すべての子供が気軽に立ち寄り、学習や食事ができる居場所をつくります。

保護者の就労や家庭の収入を助けます

・生活に困っている家庭には、手当の支給など、子育てに必要なお金を支援します。

・保護者の状況に合った仕事を見つける手助けをします。

支援に関する情報をわかりやすく伝えます

・妊娠期から生活面での困りごとを把握し、家庭への訪問などにより、適切な支援につなげます。

・様々な支援の内容を、わかりやすく伝える本をつくり、小学校で配ります。

目標5　特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実①

すべての子供の心と体が

健康に育つために、

子供や家庭の状況に合わせて

手助けします。

例えばこんな
意見が・・・

虐待とか
ヤングケアラーについて
教えてくれる時間が
あったらいい。

ヤングケアラーを支援します

・本来大人が担うような家事や家族の世話を、日常的にしている子供（ヤングケアラー）がいることを知ってもらい、そうした子供を助けます。

児童虐待を防ぎます

・区市町村など、様々な関係機関と協力して、子育ての悩みや不安がある保護者を支え、子供の虐待を防ぎます。

・児童虐待の防止への理解に向けた普及啓発を行います。

親と暮らすことができない子供を支えます

・親と一緒に暮らすことができない子供たちの、心と体が健康に育つようにします。

・児童養護施設や里親（親と暮らすことができない子供が生活するところ）から離れた後も、将来、自分の力で生活できるようにします。

目標5　特に支援を必要とする子供や家庭への支援の充実②

すべての子供の心と体が

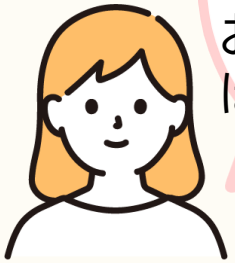
健康に育つために、

子供や家庭の状況に合わせて

手助けします。

例えばこんな意見が・・・

お便りが日本語のみ。
ほかの言語があるといい。



ひとり親家庭を支えます

・ひとり親家庭の保護者が悩みを相談しやすいようにします。

・仕事と子育て両方がしっかりできるよう、保護者の就労や子育ての支援を手厚くします。

障害や病気のある子供と家庭を助けます

・障害や病気のある子供とその家族が身近な地域で安心して暮らせるよう、手助けします。

・また、自立して生活できるよう、一人ひとりのニーズに応じた支援をしていきます。

外国につながる子供やその家族を手助けします

・親が外国の人など、外国につながる子供やその家族について、日本語を学ぶことができる場所などを提供します。

・情報発信の際は、やさしい日本語を取り入れて、分かりやすく伝えます。

目標6　次代を担う子供たちを健やかに育む基盤の整備①

子育てと仕事を両立できるようにします。

子供の事故などを防ぎます。

社会全体で、**子供を大切にするという気持ちを高めます。**

例えばこんな意見が・・・

親が仕事で忙しい。
一緒に外に
遊びに行きたい。

家庭生活と仕事の両立を実現します

・育児は「休み」ではなく「未来を育む大切な仕事」という「育業」の考えを広く知ってもらいます。

・子育てのために仕事を休みやすくし、家庭での生活も、仕事も、両方しっかりできる環境をつくっていきます。

子育てのための住居環境を整えます

・子供がけがをしにくいなど子育てしやすい家を増やします。

・子供のいる家庭が、手頃な価格で安心して住むことができる住宅を増やします。

目標6　次代を担う子供たちを健やかに育む基盤の整備②

子育てと仕事を両立できるようにします。
子供の事故などを防ぎます。

社会全体で、**子供を大切にするという気持ちを高めます。**

例えばこんな意見が・・・

子供だけでお出かけしても安全なまちだと良い。

子供を犯罪や事故から守ります

・繁華街やインターネット上で、子供が犯罪に巻き込まれないよう、警察などと協力し守ります。

・交通ルールを学べる機会を提供したり、子供に起きやすい事故の事例を伝え、子供の事故を防ぎます。

安心して外出できる環境を整備します

・子供と一緒の家庭が安心して外出できるよう、歩きやすい歩道や広いスペースのある電車、おむつ替えなどができる子供向けの施設を整備します。

子供や子育て家庭を応援する雰囲気をつくります

・東京都内の子育てに役立つ情報や、お店などが提供している子育て家庭を応援するサービスについて、「とうきょう子育てスイッチ」というサイトで検索できるようにします。

・多くの人や会社などが協力して、社会全体で、子供を大切にするという気持ちを高めます。

東京都子供・子育て支援総合計画（第3期）の
より詳しい内容は、こちらにあります。

ぜひご覧ください！

東京都子供・子育て支援総合計画